

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況（振り返り）」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	13	法人内外の認知症ケア研修会には、自主的に参加している。異動や新入法職員にはエルダー制やOJTで意識面での動機付けにはなっているが、専門職としての技量にバラつきがある。	育成システムを充実し、活用する事で、個人やチームの課題を抽出し、専門職としてのスキルアップを図る	・介護技術評価表の活用 ・ホーム長、グループリーダーと職員の定期的な面談を行い、その達成度や意欲を確認する ・OJTの実践を通し、互いに学び合う機会を持つ	12ヶ月
2	23	ひとり一人の状態や希望に添って、支援をしているが、身体介護を要する方が多く、意向や楽しみが十分とは言えない。	・その方の思いや意向を全職員で把握し、ケアに繋げて行く	・各担当者がひとり一人の思いや意向を確認する ・本人の思い、意向を盛り込んだ企画の立案 ・家族への伝達と協力要請	12ヶ月
3	26	GH職員だけでなく、法人内の他職種の協力を得て、ケアプランに反映させている事例もある。ご家族の希望も伺いながら、本人の希望と合わせ状態に応じた計画を作成しているが、思う様に実施出来ていない項目もある。	・本人、家族と共にその方らしいケアプランを作成する	・センター方式の学習と活用 ・ご家族のカンファレンスへの参加 ・身体機能の評価（法人専門職の協力を得る）	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。